

AMR対策臨床セミナー

「抗微生物薬適正使用の手引き 第三版」

解説編 online①

医療施設は、薬剤耐性の発生やその伝播に重要な役割を果たしており、医療施設における感染症に対する抗菌薬の適正使用は、薬剤耐性対策において不可欠です。

主に各医療機関で実際に入院患者の感染症の治療にあたる医療従事者(感染症診療を専門とする医療従事者や、院内の抗菌薬適正使用支援チーム [Antimicrobial Stewardship Team: AST] を含む)を対象に、薬剤耐性菌を含む入院患者の感染症に対する具体的な治療について、2回に分けて解説します。



「抗微生物薬適正使用の手引き 第三版」本編



「抗微生物薬適正使用の手引き 第三版」別冊



「抗微生物薬適正使用の手引き 第三版」補遺

第4回「入院患者の感染症で問題となる微生物について vol.1」

講演1:「腸内細菌目細菌の概要、ESBLおよびVRE」

早川 佳代子 国立国際医療研究センター 総合感染症科 医長

講演2:「黄色ブドウ球菌」

狩野 恵彦 厚生連高岡病院 総合診療科・感染症内科 診療部長

講演3:「カンジダ」

牧野 淳 東京都立墨東病院 集中治療科 部長

2024年11月2日(土) 13:30-15:00

会場 ■ オンライン配信のみ (国立国際医療研究センターからライブ配信)

対象 ■ 医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師、その他の医療従事者

(日医生涯教育講座の単位はありません、ICD等制度協議会の講座単位は取得できます)

参加費 ■ 無料 後日、e-learningで受講可能

オンライン参加 申し込み

➤ 申し込み先: 国立国際医療研究センター病院 AMR臨床リファレンスセンター

➤ 右記のQRコードを読み取るか、以下のURLにアクセスし、登録フォームにご記入をお願いします

https://us02web.zoom.us/webinar/register/WN_A22SX4poT_yGbniyeoDXAw



締切 2024年10月31日(木)